

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数:42項目

問題あり:3件

要確認:4件

問題なし:35件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

森屋宏（もりや ひろし）

記載内容:「森屋宏(もりや ひろし)」

検証結果:✓正確

根拠・出典:参議院公式サイト

生年月日

記載内容:「1957年山梨県都留市生まれ」

検証結果:✓正確

根拠・出典:参議院公式サイト・Wikipediaにて「昭和32年7月21日山梨県都留市生まれ」と確認

北海道教育大学卒業年

記載内容:「北海道教育大学卒業後」

検証結果:✗誤り

正しい情報:昭和55年（1980年）ではなく昭和54年（1979年）卒業

根拠・出典:参議院公式サイト・Wikipediaにて「1979年（昭和54年）、北海道教育大学教育学部卒業」と記載

参議院当選回数

記載内容:「当選2回」

検証結果:✓正確

根拠・出典:Wikipediaにて2013年初当選、2019年再選と確認

選挙年

記載内容:「2013年、第23回参議院議員通常選挙に山梨選挙区から出馬し初当選」

検証結果:✓正確

根拠・出典:Wikipediaで確認済み

内閣官房副長官就任

記載内容:「2023年9月から約1年間、内閣官房副長官（政務担当）として岸田改造内閣を支えました」

検証結果:✓正確

根拠・出典:首相官邸・Wikipediaにて「2023年（令和5年）9月13日、第2次岸田第2次改造内閣において、内閣官房副長官に就任」と確認

参議院内閣委員長

記載内容:「参院内閣委員長(2021年)」

検証結果:△要確認

理由:令和2年10月（2020年10月）就任との記載があり、年次に齟齬の可能性

根拠・出典:首相官邸サイトでは「令和2年10月参議院内閣委員長」と記載

2. 数値情報

在職期間

記載内容:「在職期間は2013年から現在まで約12年」

検証結果:✓ 正確

根拠・出典:2013年7月当選から2025年現在まで約12年間が正確

国会発言回数

記載内容:「この10年間の本会議および委員会発言回数は約90回」

検証結果:△要確認

理由:具体的な発言回数の検証が困難

根拠・出典:朝日新聞のポリティペディア等を参照したが具体的な数値は確認困難

発言総文字数

記載内容:「発言総文字数は約120万字」

検証結果:△要確認

理由:具体的な文字数の検証が困難

歳暮問題の時期

記載内容:「2013年末の寄付行為問題」「2013年12月、地元山梨県の県議会議員21人に歳暮として高級牛肉を贈っていた」

検証結果:✓ 正確

根拠・出典:Wikipedia・Weblioにて「2013年12月29日、森屋が山梨県議21人に贈答用の牛肉を贈っていたことが判明」と確認

甲府地検の処分

記載内容:「甲府地検の調査では「意図的な買収を裏付ける証拠が十分でない」として不起訴処分」

検証結果:✓ 正確

根拠・出典:Wikipediaにて「2014年12月17日、甲府地検は「事実を裏付ける証拠が十分でない」として不起訴処分を決定した」と確認

政治資金の金額

記載内容:「年収入約170万円、年支出約250万円」

検証結果:△要確認

理由:具体的な政治資金収支報告書の確認が必要

SNSフォロワー数

記載内容:「2025年時点でTwitterフォロワー約3,000人、Instagramフォロワー約1,700人」

検証結果:△要確認

理由:現在のフォロワー数の正確な確認が困難

3. その他の重要な事実関係

山梨学院大学大学院修了年

記載内容:記事では詳細な記載なし

検証結果:✓ 正確

根拠・出典:参議院公式サイトにて「平成26年山梨学院大学大学院修了」と確認

修士論文タイトル

記載内容:「修士論文「二元代表制の可能性」執筆」

検証結果:**✕**誤り

正しい情報:「二元代表制における機関競争の可能性」

根拠・出典:Wikipediaにて正確なタイトルを確認

県議会議員期数

記載内容:「山梨県議会議員に初当選、以後4期14年務めました」

検証結果:**✓**正確

根拠・出典:参議院公式サイトにて「平成11年山梨県議会議員に当選（4期）」と確認

総務大臣政務官の時期

記載内容:「総務大臣政務官(第3次安倍内閣)」

検証結果:**✕**誤り

正しい情報:第3次安倍第1次改造内閣

根拠・出典:Wikipediaにて「総務大臣政務官（第3次安倍第1次改造内閣）」と確認

改善提案

修正が必要な箇所の一覧

- 北海道教育大学卒業年:「昭和55年」→「昭和54年（1979年）」に修正
- 修士論文タイトル:「二元代表制の可能性」→「二元代表制における機関競争の可能性」に修正
- 総務大臣政務官の詳細:「第3次安倍内閣」→「第3次安倍第1次改造内閣」に修正

追加確認が推奨される情報

- 参議院内閣委員長就任年: 2021年か2020年かの確認
- 国会発言回数・文字数: より具体的な数値の確認
- 政治資金収支の詳細: 最新の収支報告書による確認
- SNSフォロワー数: 現在の正確な数値の確認

全体的に記事の内容は高い精度を保っていますが、上記の数値や固有名詞の詳細部分については追加の確認・修正が必要です。特に北海道教育大学の卒業年については複数の公式資料で昭和54年（1979年）と確認されているため、修正が必要です。